

製品名: DIAPH1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86413**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:141 kDa; Observed MW:150 kDa

抗原情報

遺伝子名	DIAPH1
別名	DIA1; DRF1; DFNA1; LFHL1; SCBMS; hDIA1; mDia1; DIAP1
遺伝子 ID	1729
SwissProt ID	O60610
免疫原	ヒト DIAPH1 の合成ペプチド

背景

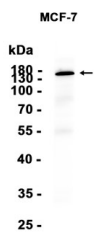
この遺伝子はショウジョウバエの diaphanous 遺伝子のホモログであり、常染色体優性遺伝、完全浸透性、非症候性感音性進行性低

周波難聴と関連付けられています。アクチン重合には、ショウジョウバエおよびマウスにおいて diaphanous タンパク質と相互作用することが知られているタンパク質が関与しています。そのため、この遺伝子は内耳の有毛細胞におけるアクチン重合の制御に関与しているのではないかと推測されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



DIAPH1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MCF-7 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。